

➤ 県計画の特徴 …「緩和」と「適応」の2つの取組が両輪！

## 緩和

とは？

原因を少なく

## 2つの

気候変動対策

## 適応

とは？

影響に備える

緩和策の例

節電・省エネ  
エコカーの普及  
再生可能エネルギーの活用  
森林を増やす  
温室効果ガスを減らす

適応策の例

感染症予防のため虫刺されに注意  
熱中症予防  
災害に備える  
高温でも育つ農作物の品種開発や栽培  
水利用の工夫

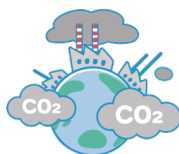
気候変動による人間社会や自然への影響を回避するためには、温室効果ガスの排出を削減し、気候変動を極力抑制すること（緩和）が重要です。

緩和を最大限実施しても避けられない気候変動の影響に対しては、その被害を軽減し、よりよい生活ができるようにしていくこと（適応）が重要です。

出典）気候変動適応情報プラットフォーム

➤ 秋田県が目指す姿と計画の目標〔再掲〕

### 目指す姿「県民総参加で脱炭素の実現を目指す地域社会の形成」



省エネ等によるCO<sub>2</sub>排出抑制



資源・エネルギー循環



環境配慮型ライフスタイルへの転換

#### ＜重点的に推進する施策＞

- ・ 県民の生活や企業の事業活動、地域・県有施設における脱炭素化の促進等
- ・ 更なる沖合への洋上風力発電の導入の促進等
- ・ 林業経営体への造林地集積による再生林の促進等

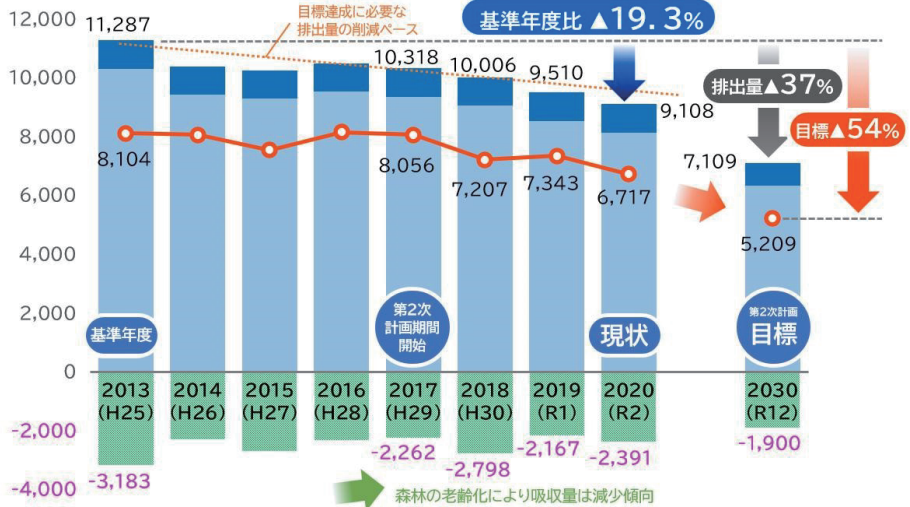
#### ＜2030年度目標＞温室効果ガス排出量

# 5,209

千トン-CO<sub>2</sub> （2013年度比▲54% ※森林吸収を含む）

秋田県におけるCO<sub>2</sub>排出量の削減状況の推移

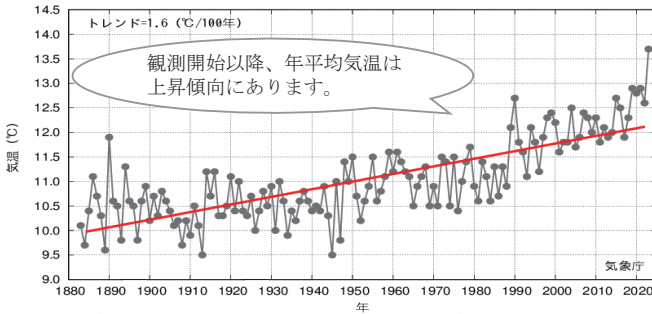
(千t-CO<sub>2</sub>)



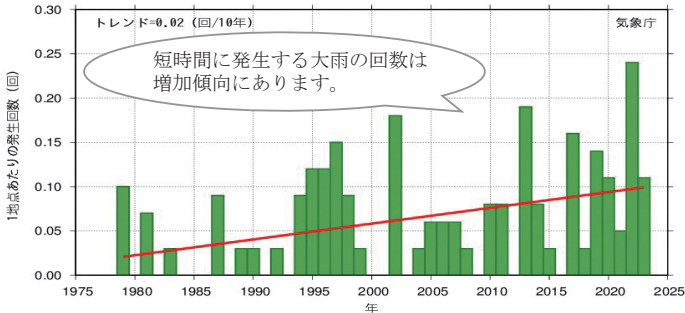
出典 秋田県の温室効果ガスの排出状況等 (2024年3月)

参考  
情報

秋田県の年平均気温 (1883~2023年)



秋田県[アメダス] 1時間降水量 50mm以上の年間発生回数



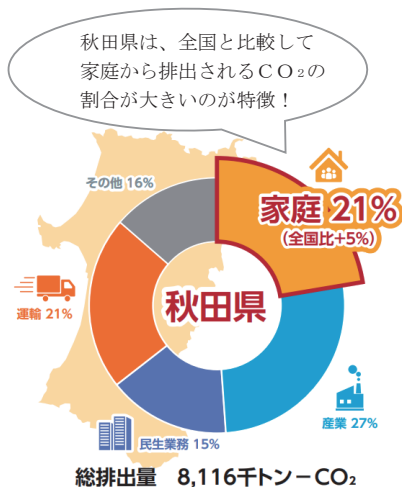
出典 気候変動適応情報プラットフォーム 気候変動の観測・予測データ (秋田県)

### 3.1. 温室効果ガスの排出削減対策の推進

CO<sub>2</sub>排出量の削減を着実に進めていくためには県民、事業者、行政が一丸となって取り組む必要があります。

そこで、県では温対法第40条第1項に基づく地域協議会を兼ねた協働組織として、県民、事業者、行政が幅広く参加する「ストップ・ザ・温暖化あきた県民会議」を設置しています。

県民会議には、令和6年11月末日現在、144の団体と個人が参加しており、各主体が連携して脱炭素社会の実現に向けた取組を行っています。



出典) 2020年度の秋田県の温室効果ガスの排出状況等 (2024年3月公表)

#### [CO<sub>2</sub>排出削減に向けた取組の紹介]

##### ➤ 省エネルギー行動の促進



うちエコ診断の実施  
出典) 家庭エコ診断制度HP より  
(※引用元<https://www.uchieco-shindan.jp/>)

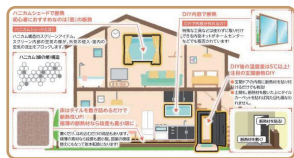


YouTube 動画による啓発  
出典) 秋田県:YouTubeにて温暖化対策の普及啓発動画を配信中！宣言より



あきたゼロカーボンアクション登録制度  
出典) 秋田県:あきたゼロカーボンアクションのご案内 (登録企業・団体を募集中！)

##### ➤ 省エネルギー化の促進



住宅の高断熱化の啓発  
出典) 秋田県:「ナゼなに!!あきたデコ活チャレンジ」より



省エネ設備導入促進



省エネ診断の利用促進  
出典) (一社) 環境共創イニシアチブHP より  
(※引用元<https://syounenohojyokin.sii.or.jp/shindan/>)

##### ➤ 環境に配慮した製品・役務の利用



県産材の利用促進  
出典) 秋田県:「秋田県産木材製品 内装材Webカタログ」HPより  
(※引用元<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/52932>)



低炭素型製品等の選択促進  
出典) 秋田県:スマホアプリ「あきエコどんプロジェクト」で環境にやさしい取組をして、オトクな賞品をゲットしよう！



環境保全型農業の導入  
出典) 秋田県:環境保全型農業直接支払交付金より  
(※引用元<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/32738>)

## 3.2. 再生可能エネルギー等の導入の推進

県では、風力発電や地熱発電などの再生可能エネルギーの導入を積極的に進めており、国内最大級の新エネルギー供給基地を目指しています。

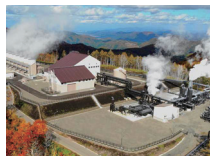
また、再エネ工業団体の整備、発電所の保守管理及び部品製造などの関連産業による県内への経済効果を最大限に高める取組を強化しています。

(※引用元<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/10638>)



風力（陸上・洋上）

出典) 秋田県: 資源エネルギー課の取組について より



地 熱

出典) 秋田県: 第2期秋田県新エネルギー産業戦略（改訂版）について より



水 力

出典) WebTVあきた 自然の恵みを身近な暮らしに  
～秋田県営水力発電所のすがた～ より



再エネ工業団地完成イメージ図

出典) 秋田県: 第2期秋田県新エネルギー産業戦略（改訂版）について より

### 県内の再生可能エネルギー導入量

※図表内の数値は2020年12月末時点のもの

■ 導入量は着実に増加しており、風力発電については全国第1位の導入量となっています。

■ 風力発電の年間発電量は一般家庭約40万世帯\*の電力消費量に相当します。

(kw)

【県内導入量\*\*】 0 10万 20万 30万 40万 50万 60万 70万

#### 導入量全国第1位（H27年末は第4位）

洋上風力について、港湾内で事業着手一般海域の4 海域においても大規模な導入が今後見込まれる



風力

約64.6万kw

#### 導入量全国第2位（H27年末は第3位）

国内23年ぶりとなる大型地熱発電所が令和元年度に湯沢市で運転開始他複数箇所で事業化が見込まれる



地熱

約13.4万kw

固定価格買取制度（FIT制度）により着実に導入が進んでおり、平成27年度末と比較して2倍以上の導入量となった



太陽光

約29.7万kw

再生可能エネルギーの中で最も歴史が長く導入量も多い



水力

約30.2万kw

固定価格買取制度の活用や燃料の安定的な供給を図り、着実に導入量が増加



バイオマス

約10.6万kw

\*経済産業省資源エネルギー庁発電コスト検証ワーキンググループの設備利用率25.4%及び1世帯300kwh/月で試算

\*\*風力・太陽光：令和2年12月末、地熱：令和3年1月末、バイオマス：平成29年3月末現在の数値

\*\*掲載値は小数点第2位以下切り捨ての数値を計上

出典) 第2期秋田県新エネルギー産業戦略（改訂版）概要版より

(※引用元<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/10638>)



### 3.3. 脱炭素地域づくりの推進

#### ➤ 脱炭素先行地域の創出

秋田県と秋田市は、環境省から2030年度までに電力消費に伴うCO<sub>2</sub>排出量の実質ゼロを目指すモデル地域（先行地域）に選定され、秋田臨海処理センターを中心とした向浜地区でのカーボンニュートラルエリアの創出を進めています。

また、県内では大潟村も先行地域に選定され、粃殻を活用した地域熱供給ネットワークの構築を進めています。

 <p>秋田臨海処理センター(下水処理施設)</p> <p>カーボン ニュートラル エリアを創出</p>	 <p>大潟村中心エリア (村の集落地の半分をカバー)</p>
<p>秋田県・秋田市 「流域下水道を核に資源と資産活用で実現する秋田の再エネ地域マイクログリッド」</p>	<p>大潟村 「自然エネルギー100%の村づくりへの挑戦」 (※引用元<a href="https://www.iseip.or.jp/">https://www.iseip.or.jp/</a>)</p>

出典) 秋田県：カーボンニュートラルへの挑戦！  
(関連情報をまとめてご案内) より

出典) 特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所より

#### ➤ ゼロカーボンシティ宣言

温対法では、地方公共団体は温室効果ガスの排出の削減等のための総合的かつ計画的な施策を策定し、実施するように努めるものとされています。


県内では、11市町村がゼロカーボンシティ宣言を行い、各地域の実情に合わせた脱炭素化の取組を進めています。



環境省公式サイト

「地方公共団体における  
2050年二酸化炭素排出  
実質ゼロ表明の状況」

#### <参考>湯沢市ゼロカーボンシティ宣言

	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 市、市議会、商工会議所、商工会の4者共同で宣言</li> <li>✓ 国内初ゼロカーボンピッチイベントを開催</li> <li>✓ 高校生によるロゴマークデザインを採用するなど、市民一体となって取組を推進</li> </ul>
--	--

出典) 湯沢市ゼロカーボンシティ宣言 より

### 3.4. 循環型社会の形成

#### ➤ 食品ロス対策（食べ残しの持ち帰り等）

県では、外食時に食べきれなかった食品の持ち帰りモデル事業など、食品ロスの削減に取り組んでいます。



(写真) 持ち帰り容器

出典) 秋田県：外食時に食べきれなかった食品の「持ち帰り」をしてみませんか？

### ➤ 海洋プラスチック削減対策（マイボトルなど）

県では手軽に取り組める活動の一つとして、繰り返し使える水筒やタンブラーなどの積極的な利用を呼びかける「マイボトル持参運動」に取り組んでいます。



啓発ステッカー

出典) 秋田県：「マイボトル持参運動」実施中です！

## 3.5. 環境教育・環境保全活動等の推進

### ➤ あきたエコフェスの開催

県では、民間団体・企業や大学等と連携し、秋田の豊かな自然の大切さ、地球温暖化をはじめとする環境問題やその対策などについて、大人も子どもと一緒に楽しみながら学習できる大規模イベントの開催を支援しています。



第22回あきたエコフェスの様子

### ➤ 地域で活動する民間団体等の活動支援

秋田県地球温暖化防止活動推進センターは、地域で環境保全に取り組んでいる団体と協働でイベントや学習会等を開催しているほか、住民団体等が主催する環境学習会等に無料で講師を派遣するサービスを提供し、地域における環境保全活動の促進と参加者の実践意欲の向上などに取り組んでいます。

また、秋田県のこどもエコクラブ事務局として、各クラブからの相談への対応、活動の紹介、クラブ同士の交流の機会の提供等、子ども達による環境保全活動も支援しています。



こどもエコクラブの自然観察活動の様子



地域で活動する団体と協働で実施した  
エコッキング教室の様子

## 3.6. 気候変動への適応策の充実



県では、「秋田県気候変動適応センター」を設置して、気候変動の影響への適応策に関する情報を発信しています。

その他、熱中症対策セミナー、ワークショップ、気候変化記録（サクラ、イチョウ、カエデのモニタリング）などを行い、県民の理解促進を図っています。



熱中症対策セミナー

出典) 秋田県気候変動適応センター  
熱中症対策セミナーを開催  
しました より



適応ワークショップ

出典) 秋田県気候変動適応センター  
気候変動適応ワークショップを  
開催しました! より



気候変化記録

出典) 秋田県気候変動適応センター  
「生物季節」 気候変動情報より